

皿倉登山鉄道株式会社

I 法人の概要（令和5年4月1日現在）

1 所在地

北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1

2 設立年月日

昭和 32 年 3 月 1 日

3 代表者

代表取締役社長 吉田 茂人

4 資本金

10,000 千円

5 北九州市の出資金

10,000 千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	8 人	0 人	1 人	7 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職 員	9 人	0 人	1 人	8 人

7 市からのミッション

本市の代表的な観光地の一つである皿倉山山頂への唯一の公共交通手段である皿倉山ケーブルカー等を運行することで、産業観光や夜景観光の誘致など皿倉山周辺地区への本市の観光戦略の一翼を担う。

II 令和4年度事業実績

当社は、皿倉山においてケーブルカー及びスロープカー施設を市から借り受けて運行しており、皿倉山頂展望台の管理運営業務等を市から受託している。

令和4年度は、3年ぶりに新型コロナウイルス感染拡大防止による長期運休がなく、運行日数は302日で、概ね当初の運行計画どおりであった。夜間運行については、最終運行時間を上り21時20分（11月～3月は19時20分）、下りを22時（11月～3月は20時）とし、通年で実施した。

また、皿倉山ケーブルカー山麓駅～ジ アウトレット北九州間の無料シャトルバスの運行や、7月1日～8月31日に実施した公共施設の入場料を無料とする「お出かけ応援プレミアムサマー事業」等の市や関連団体と連携した集客事業に取り組んだ。

1 輸送人員

ケーブルカー、スロープカーを合わせた輸送人員は、夜間運行の通年実施や「日本新三大夜景都市」第1位認定等の効果で、55万6千人で、前年度比11万5千人（26.3%）の増となった。

2 営業損益

営業収益は、1億9,032万円（前年度比5,622万円増）となった。

営業費は1億7,821万円（前年度比3,289万円増）となり、当期の営業損益は1,210万円（前年度比2,333万円増）の黒字となった。

3 経常損益

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益は、1,369万円（前年度比1,771万円増）の黒字となった。

4 当期純損益

上記経常損益から特別損益を加え、法人税等を差し引いた当期純損益では、1,099万円（前年度比1,509万円増）の黒字となった。

Ⅲ 令和4年度決算

1 貸借対照表

令和5年3月31日現在（単位：円）

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	157,606,784	流 動 負 債	46,035,235
現 金 及 び 預 金	121,339,556	買 掛 金	3,600
未 収 運 賃	533,760	一 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	5,099,999
未 収 入 金	31,001,834	未 払 金	31,432,451
商 品	671,909	預 り 金	278,265
貯 蔵 品	3,998,350	仮 受 金	100,120
前 払 費 用	61,375	未 払 法 人 税 等	2,230,900
		未 払 消 費 税	5,024,900
		賞 与 引 当 金	1,865,000
固 定 資 産	22,237,223	固 定 負 債	31,966,018
鋼 索 鉄 道 事 業 固 定 資 産	21,277,347	長 期 借 入 金	30,800,018
そ の 他 事 業 固 定 資 産	861,506	退 職 給 付 引 当 金	1,166,000
投 資 そ の 他 の 資 産	98,370		
出 資 金	10,000	負 債 合 計	78,001,253
長 期 前 払 費 用	88,370	(純 資 産 の 部)	
		株 主 資 本	101,842,754
		資 本 金	10,000,000
		利 益 剰 余 金	91,842,754
		そ の 他 利 益 剰 余 金	91,842,754
		繰 越 利 益 剰 余 金	91,842,754
		(うち 当 期 純 利 益)	(10,997,267)
		純 資 産 合 計	101,842,754
資 産 合 計	179,844,007	負 債 ・ 純 資 産 合 計	179,844,007

2 損益計算書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
鋼索鉄道事業		
営業収益	133,989,520	
営業費	155,356,394	
営業損失		21,366,874
その他の事業		
営業収益	56,325,772	
営業費	22,858,552	
営業利益		33,467,220
全事業営業利益		12,100,346
営業外収益		1,943,092
受取利息及び配当金	42,926	
雑収入	1,900,166	
営業外費用		348,686
支払利息	143,499	
雑支出	205,187	
経常利益		13,694,752
特別利益		
固定資産売却益		—
特別損失		
固定資産除却損		460,002
税引前当期純利益		13,234,750
法人税、住民税及び事業税		2,237,483
当期純利益		10,997,267

IV 令和5年度事業計画

平成22年度に策定した「経営改善計画」に基づき、平成23年度に市からの出資金を減資したことにより、16億円を超える累積損失を解消し、平成24年度には減価償却費、維持管理費等の軽減を図るため、ケーブルカー等の事業資産を市へ譲渡した。

この資産譲渡に伴う減損処理により生じた欠損金についても、経営改善計画に基づく配置人員の見直しによる人件費の削減や、営業強化による収益の向上などにより、平成27年度末には解消した。

令和3年度は赤字となったものの、令和4年度は「日本新三大夜景都市」第1位認定の効果や7~8月に北九州市が実施した需要喚起策である「お出かけ応援プレミアムサマー事業」により、黒字となった。令和5年度についても、インバウンドが回復基調にあることや展望台レストランの運営会社の変更といった要因により利用者の増が期待できる。今後も、ケーブルカーやスロープカーの安全な運行を最優先としながら、より一層の経営の効率化、利用者サービスの向上のため、以下の項目について重点的に取り組む。

1 「経営改善計画」の継続と人材の育成

経営改善計画に基づく、効率的で適正な運行、業務執行体制のための改善を継続していくとともに、事業継続のための人材の育成に努める。

2 安全運行遵守

「令和5年度無事故達成」をスローガンに、①安全意識の醸成、日常的な現場巡視による実情の把握と業務マニュアルの実践・遵守の徹底、②車両、運転施設の徹底的な点検、整備の実践、③同種事業や関連会社との情報交換会などの研修を通じたスキルアップを図る。

3 増客、増収対策

(1)集客及び賑わい振興

皿倉山への誘客促進策として、令和4年度に引き続き、皿倉山ケーブルカー山麓駅~ジアウトレット北九州間を運行する無料シャトルバスを運行するとともに、新たに皿倉山ケーブルカー山麓駅~JR小倉駅間の無料シャトルバスも運行する。

また、「星空ピアガーデン」「サタデーナイトライブ」「クリスマスライブ」「バレンタイン大作戦」等のイベントを実施する予定である。

(2)夜間運行の実施

4月~10月は22時まで、11月~3月については20時までとする。今後も、北九州市の夜景観光に寄与していく。

4 乗客サービス向上

「お客様ご意見箱」やイベント時のアンケートなどにより顧客ニーズを的確に把握し、サービスに反映するとともに、「笑顔で心からのおもてなし実践」を、日常業務や接遇研修の中で従業員全員に指導徹底していく。

V 令和5年度予算

予定損益計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額
鋼 索 鉄 道 事 業	
営 業 収 益	115,000
営 業 費 用	140,130
営 業 損 失	25,130
そ の 他 事 業	
営 業 収 益	51,900
営 業 費 用	20,630
営 業 利 益	31,270
全 事 業 営 業 利 益	6,140
営 業 外 収 益	25
営 業 外 費 用	161
経 常 利 益	6,004
特 別 利 益	—
特 別 損 失	—
税 引 前 当 期 純 利 益	6,004
法人税、住民税及び事業税	1,290
税 引 後 当 期 純 利 益	4,714

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和5年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役	吉田茂人	
専務取締役	欠員	
取締役	柏井宏之	北九州市企画調整局長
〃	上田紘嗣	北九州市財政局長
〃	池永紳也	北九州市産業経済局長
〃	石川達郎	北九州市建設局長
〃	喜洲淳哉	北九州市八幡東区長
監査役	小島庸匡	公認会計士
〃	辰本道彦	北九州市産業経済局観光部長

2 市との特命随意契約の状況（令和4年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
皿倉地区観光 来訪者対応業務	31,605	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。	館内清掃	977	社会福祉法人北九州障害者福祉事業協会	随意契約 (特命)	障害者優先調達推進法に基づく優先発注のため。
			浄化槽保守	541	株式会社 椀組	随意契約 (特命)	山上という寒冷差が大きい環境で、夜間を含め臨機応変に緊急対応できる能力を有するため。
			昇降機設備保守	1,386	ダイコー株式会社	随意契約 (特命)	対象設備の技術情報を保有する同社しか、速やかな故障等への対応ができないため。
			自家用電気工作物保守	475	中原電気管理事務所	随意契約 (特命)	他の電気動力設備の保守管理と一体的に実施することで、円滑な業務の実施が可能であるため。
			消防設備保守	66	株式会社東和防災システム	随意契約 (特命)	少額随意契約(1件5万円以下)2件
			空調設備保守	176	スガハラテクノ株式会社	随意契約 (特命)	山上という寒冷差が大きい環境で、夜間を含め臨機応変に緊急対応できる能力を有するため。
			ジアウトレット北九州シャトルバス運行	10,360	㈱クマランド	随意契約 (見積合わせ)	
皿倉山ケーブルカーオーバーホール等業務	15,506	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。	皿倉山ケーブルカー整備業務 (車両タッチパネル更新、鋼索切詰、車輪交換整備・ゴムベアリング交換、サイリスタ予備品購入)	11,799	日本ケーブル株式会社	随意契約 (特命)	同社が製作・納品したケーブルカー施設で、業務実施にあたっては特殊な専門知識や技術が必要とし、また、作業を実施するための専門的な設備・施設も備えている唯一の業者であるため。
			皿倉山スロープカースカート (フレーム更新)及びドアロック復旧業務	3,707	株式会社嘉穂製作所	随意契約 (特命)	同社が製作・納品したスロープカーで、業務実施にあたっては特殊な専門知識や技術が必要とし、また、作業を実施するための専門的な設備・施設も備えている業者であるため。

山麓駅昇降機部品交換	310	ケーブルカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)と同じ指示命令系統のもと一体で管理する必要があるため。	再委託なし				
皿倉山山頂展望台合併処理浄化槽プロワー取替業務委託	744	展望台施設及び浄化槽の日常管理を行っている皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理する必要があるため。	再委託なし				
高圧気中開閉器(PAS)取替業務	554	皿倉山山頂における電気設備を最も把握し、第2種鉄道事業者としてケーブルカーを運行している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
皿倉山ケーブルカー軌道及び山麓駅周辺伐採業務	822	ケーブルカーの運行を担っている皿倉登山鉄道(株)と同じ指示命令系統のもと一体で管理する必要があるため。	再委託なし				
皿倉山ケーブルカー山上駅土間メンテナンス業務	535	山上駅を管理、運営している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理する必要があるため。	再委託なし				
皿倉山山頂展望台別館屋根等メンテナンス業務	2,703	山頂展望台別館を管理、運営している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理する必要があるため。	再委託なし				
皿倉山スロープカーイルミネーションメンテナンス業務	1,628	スロープカーを運行している皿倉登山鉄道(株)と同じ指揮命令系統のもと一体で管理し、作業を進めていく必要があるため。	再委託なし				
帆柱自然公園及び皿倉登山道維持管理業務	3,289	参加者の有無を確認する公募を実施した結果、参加意思を表明するものがいなかったため。	登山等の巡視、ボランティアの育成及び帆柱自然公園利用者への指導等	509	特定非営利法人帆柱自然公園愛護会	随意契約(特命)	同団体は、帆柱自然公園ないにおいて、日常的に自然公園や動植物の保全・保護活動を行っている。その時々々の現地の状況を熟知しており、連携した明確な巡視・通報、指導が可能であるため。
			GW期間の表登山道入口通行止めにかかる警備及び誘導業務	696	安全警備株式会社	随意契約(見積合せ)	
			帆柱自然公園初日登山等警備業務	415	安全警備株式会社	随意契約(見積合せ)	
合計	57,696		合計	31,107			